

< 「徳島大学大学院医学研究科特別講義」 >

# 医療コミュニケーション研究 セミナーのお知らせ

## ■ 題目

医療のエスノメソロジー研究の現状と課題

## ■ 講演講師

藤守 義光氏 (工学院大学, 社会学者)

## ■ コメンテーター講師

寺嶋 吉保氏 (徳島大学, 外科医)

■ 日 時 8月1日(金) 18:30~20:00 (開場は 15 分前)  
(報告 45 分+質疑 45 分)

■ 会 場 徳島大学青藍会館・大会議室  
(蔵本キャンパス南西角・医学部保健学科裏)

エスノメソロジーという社会学の方法による医療場面のフィールドワークでは、参与観察や、画像・音声データの分析を通して、医療の現場で実際に、何が、どのように行われているのか、という点を検討・研究しています。

具体的には、「実際にその仕事に携わる人たちが、知識や、相互期待、役割分担、論理立て、といったものを、どのように活用して、その場その場での作業を達成しているのか」、という点が詳細に観察・記述されます。

上記の点に留意しながら、エスノメソロジーによる医療場面の研究を概観しましょう。また、エスノメソロジーの観点から医学教育について何が言えるか、ということについても言及します。教官・大学院生・学部学生・一般医療関係者・看護関係者・SP関係者など、医学教育および医療コミュニケーションに関心を持つ全ての方のご来聴を歓迎致します。大学院医学研究科特別講義でもあります。(記録のためのビデオ撮影があります。ご承知おき下さい)

●主催 = 『医学教育のエスノメソロジー』 (学際組織)、後援 = 『徳島大学医療教育統合支援センター』、『徳島県医師会』、『徳島大学ボランティア・市民活動支援室』 (一般連絡先: 徳島大学総合科学部・榎田美雄 = kashida@ias.tokushima-u.ac.jp =)

※大学院関係連絡先: 医学部情報伝達薬理学 玉置俊晃 (内線: 2227)

※大学の所在地等は <http://www.tokushima-u.ac.jp/index.html> をごらん下さい。

## ＝参考文献＝

- 高山啓子：「医療相互行為へのエスノメソドロジ的アプローチ—医師—患者関係の非対称性をめぐって」2002年『川村学園女子大学研究紀要』13巻2号。
- 高山啓子, 行岡哲男：「道具と身体の空間的秩序—救急医療における身体参与の分析—」1997年山崎敬一、西阪仰編『語る身体・見る身体—〈附論〉ビデオデータの分析法』ハーベスト社。
- 好井裕明、山田富秋、西阪仰編：1999年『会話分析への招待』世界思想社。
- 西阪仰：1997年『相互行為分析という視点』認識と文化 13、金子書房。
- ハロルド・ガーフィンケル他、山田富秋、好井裕明、山崎敬一編訳：1987年『エスノメソドロジ—社会学的思考の解体—』せりか書房。
- デビッド・サドナウ著、岩田啓靖、志村哲郎、山田富秋共訳：1992年『病院でつくられる死—「死」と「死につつあること」の社会学』せりか書房。
- 池谷のぞみ、岡田光弘、藤守義光：「ヴィジュアル・オリエンテーションの実践的マネジメント」2000年、『テクノサイエンス研究の現在』日本認知科学会「教育環境のデザイン」研究分科会。
- Nozomi Ikeya, Mitsuhiro Okada and Yoshimitsu Fujimori:  
“Doctors’ practical management of knowledge in the daily case conference.(in print)D.Francis and S.Hester (eds.) Orders of ordinary action: Respecifying sociological knowledge”